

白山平泉寺歴史探遊館 まほろばへようこそ

ここは国史跡白山平泉寺旧境内の総合案内施設です。

平泉寺には、およそ1,300年の長きにわたる

人びとの祈りと生活の営みがあります。

このすばらしい場所「まほろば」の地を、

どうぞゆっくりとお楽しみください。



〒911-0822 勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12
TEL.0779-87-6001 FAX.0779-87-6002

白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

入館料：無料

休館日：毎週水曜日・年末年始
(水曜日が祝日の場合は翌日)

開館時間：午前9時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

ご利用情報

「平泉寺神社前」下車

- えちぜん鉄道「勝山駅」からコミュニティバスで
- 北陸自動車道「福井北IC」から車で約50分

交通案内



まほろば

白山平泉寺歴史探遊館



信仰

- ▶ 5・6世紀ごろ、大陸から仏教や道教、どうきよう しんせんし そう 神仙思想が日本に伝わり、その後、山に入って修行をして呪力じゆりよくを身につけるため山林修行がさかんになりました。
- ▶ 平安時代には、山中での修行を重んじる密教の影響もうけて、修験道しゆげんどうが発達していきます。白山はその代表的な場の一つとなりました。
- ▶ 江戸時代には、富士山・立山とともに日本三霊山と呼ばれ、より多くの人びとに崇め親あがしまれました。



加賀側から見た白山



越前側から見た白山



美濃側から見た白山

歴史

- ▶ 平泉寺は717年(養老元)に越前の僧・たいしゆう 泰澄によって開かれたといわれています。
- ▶ 平安時代後半には天台宗比叡山延暦寺の末寺となりました。
- ▶ 戦国時代には四十八社、三十六堂、六千の坊院が建ち並び、寺領は九万石(九万貫)、僧兵は八千を数えたと伝えられています。
- ▶ 1574年(天正2)一向一揆の攻撃を受け全山が焼失しました。1583年(天正11)顕海僧正が美濃から戻り、再興されました。
- ▶ 明治初年の神仏分離令にもとづき、寺号を廃止して白山神社と改めました。



青白磁観音像

史跡

- ▶ 平泉寺の発掘調査は、1989年(平成元)に開始されました。
- ▶ 調査により、白山神社境内から数百メートル離れた山林や田畑の下から、なだらかな斜面を階段状に造成した坊院跡や、縦横に整備された石畳道が発見されました。
- ▶ 中世の平泉寺は、信仰の場であるとともに、経済、文化の中心地で、人びとが生活する一大消費地でもありました。



発掘された中世の石畳道



坊院跡



平泉寺旧参道